

京都SDGsパートナー登録証



株式会社日本中央住販は、
SDGs、CO₂ゼロに
取り組むことを宣言します。

●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

弊社はSDGsの考え方に賛同し、地球や未来の子供達の為、次世代に胸を張って誇れる事が何かを考え取り組み、住宅事業を通じてSDGs実現に貢献していきます。その第一歩として今年度、国際イニシアティブのSBT認定を取得いたしました。また弊社が提供する住宅はZEHを標準化し脱炭素社会にも貢献します。

●SDGsに関する重点的な取組●

本社等事務所や各展示場の照明器具を平日50%稼働にすることや、事務所・各展示場・建築現場の電力をCO₂を排出しない自然エネルギーに切り替えること、また、2026年までに現在使用中の社用車23台をすべてEV車に切り替えることで、企業としてSBT認定を取得し、カーボンニュートラルの実現に貢献している。

提供するすべての住宅をZEH住宅にすることで、1次エネルギー消費量を抑え、CO₂発生抑制に貢献している。さらにZEH住宅は高气密高断熱住宅であるため、日本の住宅課題とされる「ヒートショック」の発生を防ぐ効果も期待でき、居住者への健康で快適な生活の提供も実現可能にしている。

住宅の建築現場で出る廃材を有効活用し木工品の制作をしている。木工品の制作に関しては、すべて提携している障害者支援施設に依頼しており、廃材の有効活用による環境改善だけでなく、障害者施設支援や障害者就労支援（社会、経済課題解決）にもつなげている。

●文化や地域活動に関する重点的な取組●

弊社の主たる事業は分譲・注文の住宅事業であるが、地元奈良県内の雇用を促進し地域に貢献したいという思いから、平成15年9月より「飲食・レストラン事業」にも参入し地域雇用の促進にも力を入れている。また、障害者施設で制作いただいた廃材加工の木工品（積み木等）は地域保育園にも提供している。

2022年12月26日
(登録番号:00160)

株式会社日本中央住販
代表取締役社長 谷手善紀



京都市長
門川 大作

